

ふるさと創造会議について

一般質問



織部 徹 議員
(21政会)

問 ふるさと創造会議の進捗状況は、立ち上がっている地区もあるが、まだまだ時間がかかりそうな地区も多いと感じる。

創造会議は、小さな役場としての役目を持つ組織でもあり、地区ごとの盛んな活動によって地域の活性化が図れるものだと思う。そこで、全校区がそろって立ち上がるのはいつ頃と見込んでいるか。

また、立ち上がっていない理由として、どのように分析しているか。

答 ふるさと創造会議の第一段階は円卓会議であり、これ

は地域が大きく動き始めた象徴でもあります。2年目となる今年度中には全地域での開催を目指しています。

進捗の遅い地域は、今までの制度と異なる新しい仕組みについて、理解や検討に時間を要しているものと思われます。また、活力がある人材のおられる地域では理解や協力が得られやすく、また、地域の全住民が参加する伝統行事の有無や、県民交流広場事業の定着度などが進捗に影響していると分析しています。

問 円卓会議までこぎつければかなり進んでいると認識するが、計画し方針を立て、さらに実行していくという事務の部分では、まだまだ労力を要するところである。市としては地区担当職員を割り当てているが、精鋭の方が一人いるほうが動きやすいのではないか。

週に1回、半日でよいので、地区の要請に応じて市から臨時職員1名を派遣していただければ、もっと進むのではないかと思うがどうか。

答 専任の臨時職員を派遣することは、一つの有効な方法と考えます。現在、国においては、総務省による集落支援員や地域おこし協力隊といった地域支援の制度が設けられており、県下でも集落支援員が利用されています。加西市でも今後、創造会議の進捗に合わせて、地域の方々と相談しながら、こうした制度の利用を検討し、活性化に役立てていきたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・教育予算について
- ・北条中学校の自転車通学について

議会改革度ランキング (2013)

2013年度の議会改革度ランキングがそれぞれ下記のとおり発表されました。

加西市議会では、議会の情報公開、住民参加、議会運営の効率化や議会活動の活性化などを目的とした「議会基本条例」を平成22年6月に制定し、議会改革に取り組んできました。本市議会における達成度は前回調査時と比べてほぼ変更がないものの、新たに他の市議会が基本条例の制定を含む議会改革を進めるなか、全体の得点数が底上げされた結果として順位が下がったものと考えられます。

日経グローバル(全国813市区議会が回答)

総合順位	自治体名	都道府県名
1 (4)	四日市市	三重県
2 (12)	会津若松市	福島県
3 (11)	高山市	岐阜県
4 (5)	上越市	新潟県
5 (1)	流山市	千葉県
6 (17)	伊賀市	三重県
7 (2)	鳥羽市	三重県
8 (6)	所沢市	埼玉県
9 (96)	山陽小野田市	山口県
9 (3)	嬉野市	佐賀県
11 (85)	奈良市	奈良県
12 (7)	加西市	兵庫県
13 (10)	亀岡市	京都府
14 (155)	堺市	大阪府
15 (9)	名古屋市	愛知県
16 (58)	加賀市	石川県
17 (33)	町田市	東京都
18 (166)	福知山市	京都府
19 (22)	横須賀市	神奈川県
19 (109)	可児市	岐阜県

※カッコ内は前回調査時(2011年)の順位
※加西市は兵庫県下で1位となっています。

早稲田大学マニフェスト研究所(全国の1,444県市区町村議会が回答)

総合順位	自治体名	都道府県名
1 (1)	三重県	三重県
2 (40)	四日市市	三重県
3 (84)	堺市	大阪府
4 (2)	鳥取県	鳥取県
5 (3)	会津若松市	福島県
6 (7)	上越市	新潟県
7 (4)	高山市	岐阜県
8 (6)	流山市	千葉県
9 (46)	京都市	京都府
10 (20)	京都府	京都府
∫	∫	∫
13 (18)	神戸市	兵庫県
15 (92)	枚方市	大阪府
19 (24)	宝塚市	兵庫県
21 (65)	奈良市	奈良県
32 (12)	加西市	兵庫県

※カッコ内は前回調査時(2012年)の順位。11位以下は、近畿地方のみ抜粋。
※加西市は兵庫県下では3位(1位神戸市、2位宝塚市)となっています。